

GIANT 日本の巨大ロボット群像 ROBOTS

The Core of Japanese Mecha Anime

—巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現—

2024年 4月20日(土) - 6月16日(日)

■開館時間 / 9:30~17:00 (金曜日、土曜日は19:00閉館 / 入室は閉館30分前まで) ■休館日 / 月曜日 [ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館、4月30日(火)、5月7日(火)は休館]

■一般1,200円(960円)、大学生600円(480円)、高校生以下無料

※()内は前売、20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 ※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスセンター、宮脇書店本店及び南本店にて4月19日(金)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)

Hours 9:30-17:00 (Entry until 16:30) Friday and Saturday: 9:30 - 19:00 (Entry until 18:30) Closed Monday (except April 29, May 6), April 30, May 7

Admissions General...1,200yen(960yen), College students...600yen (480yen), High school age or younger... Admission free

*Groups of 20 or More Get Discounts (pricing in parenthesis) *Free admission for those with a physical disability certificate, rehabilitation certificate, or mental disability certificate.

■主催：高松市美術館 ■協力：AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE鉄人PROJECT、シグナル・エムティ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、メディアウェーブ、ライツ・イン ■企画：西日本新聞イベントサービス、びあ ■企画協力：廣田恵介、タルカス(五十嵐浩司)

○公式サイト https://artne.jp/giant_robots/ ○展覧会公式X @giant_robotsten [#俺たちの巨大ロボット](https://twitter.com/giant_robotsten)

©AIC ©AICライツ ©スタジオぬえ ©創通・サンライズ ©永井豪/ダイナミック企画 ©東映 ©光プロダクション/敷島重工 ©光プロ/ショウゲート ©1982 BIGWEST

T A M
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

「巨大ロボットとは何か」を問いかける、かつてない展覧会!

『鉄人28号』(1963年)をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』(1972年)の大ヒット、新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』(1979年)の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきました。日本独自ともいえる進化と広がりを見せてきたそのデザインの変遷には、空想上の荒唐無稽なロボットという存在に、映像的な「リアリティ」を与えるために、デザインや設定上での創意工夫が凝らされ、多くのファンを魅了し続けてきました。

本展では、近年までのロボットアニメにおけるデザインと映像表現の歴史を、それらの「リアリティ」形成において重要な役割を果たした設定上の「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証していきます。その上で「巨大ロボットとは何か?」を観覧者の皆さんとともに考えていきたいと思ひます。



加藤直之・宮武一貴(宇宙の戦士)(1977年) ©スタジオぬえ

◎関連イベント

●記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」

講師:五十嵐浩司(アニメーション研究家、本展ゲストキュレーター)、山口洋三(本展監修者)

4月20日(土) 13:30~15:30 (13:15開場) ※対談終了後、講師が来場者の質問に答える時間を設ける予定です。

1階講堂にて/定員150名/無料/当日10:00より1階受付にて整理券配布

●巨大ロボットジオラマ展示

詳しくはこちら→



「巨大ロボット」を題材とするジオラマ作品を公募して展示します。力作のご応募をお待ちしています!

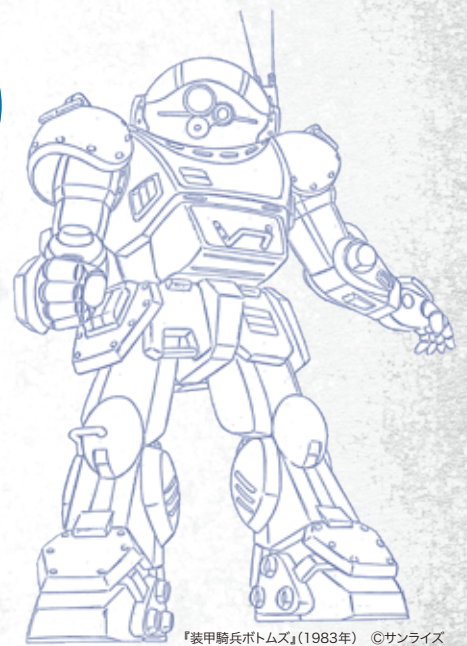
・応募方法 3月1日(金)~3月28日(木)に美術館HP内「申込フォーム」より

・展示 4月20日(土)~6月16日(日)/美術館内にて展示/観覧無料

●エントランス・ミニコンサート「高らかに歌え! 巨大ロボット賛歌」

5月18日(土) 13:30~14:00

演奏者 大山晃(うた)、大山まゆみ(ピアノ)/1階エントランスホール/観覧無料/申込不要



『装甲騎兵ボトムズ』(1983年) ©サンライズ

◎特別企画「『電磁車輛コトディーン』の世界」

高松琴平電気鉄道「ことでん」を題材に、SF劇画で香川郷土史を探索する「電磁車輛コトディーン」。ご当地SFとして2019年からユニークな展開を続ける同作品の軌跡を、原画、グッズ、その他資料により辿る。



●展示

4月20日(土)~6月16日(日)

中2階展示ロビー、ランチギャラリー等

観覧無料

●対談①「〜電磁車輛誕生〜コトディーン製作秘話語る」

4月21日(日) 13:30~15:00 (13:15開場)

出演:野口二郎(野口会館主宰)、野口哲哉(美術家)

●対談②「〜コトディーンの世界〜 仮想現実ストーリーと郷土史」

5月25日(土) 13:30~15:00 (13:15開場)

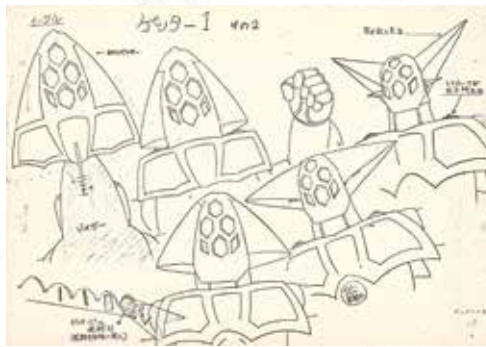
出演:野口二郎(野口会館主宰)、真鍋康正(高松琴平電気鉄道(株)代表取締役)

対談いずれも1階講堂にて/定員150名/入場無料/申込不要



ガンダムを劇中の設定サイズで体感できる!

(写真は福岡市美術館での展示風景) ©創通・サンライズ



これがゲッター1の変形プロセスだ!

『ゲッターロボ』(1974年) ©ダイナミック企画・東映アニメーション



ロボットアニメの嚆矢『鉄人28号』

『鉄人28号』(1963年モノクロアニメ) ©光プロダクション・エイケン



本編物語を牽引する劇中スーパーロボットアニメ『ゲキ・ガンガー3』

『機動戦艦ナデシコ』(1996年)

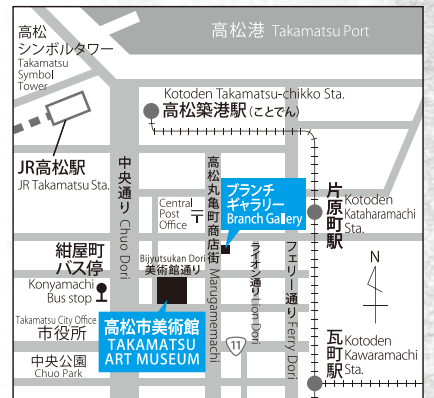
©Production I.G / ナデシコ製作委員会・テレビ東京



ルパン三世に登場するロボット兵・ラムダ

『ルパン三世 PART2』(1977年) 第155話 さらば愛しきルパンよ

原作:モンキー・パンチ ©TMS



【交通のご案内】

JR: 高松駅下車、南へ徒歩約15分

ことでん: 瓦町駅または片原町駅下車、徒歩約10分

路線バス: 紺屋町または丸亀町参番街下車、徒歩約3分

高速バス: 県庁通り下車、徒歩約8分

空港リムジンバス: 兵庫町下車、徒歩約4分

駐車場: 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車約144台収容)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

Tel.087-823-1711

高松市美術館SNSぜひご覧ください



<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>